



UP-LE

Vol.21

1994年7月20日

学校法人コア学園

飯田コンピュータ専門学校

〒395 長野県飯田市松尾明7591

☎0265-22-5111・FAX.0265-22-5100

新しい学校生活に向けて



第七期生入学式が四月十三日、

松尾公民館で行われました。

前日はぐずついた天気で不安でしたが、当日はよく晴れ、青空のもと四十二名の学生が、それぞれの想いを胸に飯田コンピュータ専門学校に入学しました。

これから二年間の学校生活は大変だと思いますが、一生懸命頑張ってもらいたいと思います。

南向きの大きな窓

時代を先取りしよう

学校長 林 研二

「ようやく景気が上向きになった」と、日銀総裁なども発言するようになったが、コンピュータソフト業界は、稍出足が遅れ、我しいソフト需要の高まりとともに急速に繁忙の時代に入るのであると云われている。先日の本校協賛会総会において、記念講演をお願いした郵政省のデータ通信課長。蝶野光さんも、一、二年遅れて再び活況を呈する業界になるのではないかと云っておられる。また、現在各省がバラバラに行なっている情報化施策を一省にまとめて、情報省の如きものを設置したらどうかという考え方もあるとのこと。建設省においてはマルチメディア時代に備えて、その所管する道路を利用して、全国津々浦々に光ファイバー網を張りめぐらす構想を打ち出している。更に決定的なこととして、六月十五日、羽田総理が各省に対し、高度情報社会に向けて積極的な施策を打ち出すよう要請した事が報道されている。

このようにして高度情報社会・マルチメディア時代への

敷石が着々と進みつつあることが実感されるようになってきた。それにつけてもその主役はコンピュータと通信の技術であり、わけてもコンピュータの知識技術は日常生活にさえ必要不可欠なものになる筈である。一台の端末機にあらゆる音声・映像・文字などが入出力され、居乍らにして各種情報の受発信ができるようになり、一例を挙げれば、簡単な病氣は医療の門をたたくことなく、端末を通じて診断が下り、治療方針が指示されることになるという。また、仕事によっては、勤務先へ出勤することなく在宅のまま、能率よく仕事をこなすことができるようになることも云う。夢のようなことがアメリカでは現実のものとなっており、日本社会も早晚そういう時代になることは間違いない。

そのような社会に、胸を張ってリーダーシップをとれるのはコンピュータ技術者である。ハードもソフトも秒進分歩で進むというコンピュータ社会には、本校の卒業生の活躍の場が手を広げて待っているのである。目先の事象にとらわれず、将来に大きな眼を開いてほしい。



入学して 頑張りたいこと

遠山 博志

この飯田コンピュータ専門学校に入学して、三ヶ月が過ぎようとしています。

僕がこの学校に入学したのは『情報処理という勉強をしたい』『沢山の資格を取ってみたい』という二つの理由があったからです。

いざ入学してみると、授業時間が五十分から九十分が増えたこと・授業の内容がコンピュータに関するものになり難しくなったこと、遅刻・欠席などについて厳しいこと、学校の設備が整っているなど、驚くばかりで、これなら、僕が目標としている、

先生と共に

学んだこと

ペンネーム
トコ屋のハサミ

入学して早三ヶ月が過ぎようとしている今日この頃。

学校にも慣れ、友達とも仲良くなってきた。長い髪とあの濃いひげを身につけているT先生。いつになったら切るのだろうか。毎日会う度に感じている。きつと二年生もそう感じているだろう。授業の方では『CASL』を習っていて、プリントを配っては、長々と説明をしている。

沢山の資格が取れるかもしれないと思えました。

しかし、実際に授業を受けてみると、専門用語などが出てくるようになり『授業の内容が理解しにくい』ということが出てくるようになりました。僕は、このまま理解しないでいくのはいけないと思い、わからない所などは、友達に聞いたりして工夫しています。

これから先、授業の内容がもっと難しくなるかもしれません。そんな時には、友達に聞いたり先生に聞いたりしていきたく思います。そして、目標としている、沢山の資格が取れるよう頑張り勉強していきたいと思えます。

みんな、頭を悩まして頑張りている九十分。

先日、新入生歓迎会があり、スポーツ大会をした。バレーにでたT先生は、とても活躍していて、みんなを「アツ」といわせていた。その中の一本目のサーブで、なんとサーブ権がとられてしまった。その後の活躍は、目にも止まらぬ早わざで、目が離せなかった。T先生のおかげで勝利を得た。

こんなことを感じながら、今後の二年間、T先生と共に、歩んでいけることをうれしく思う今日この頃。

一年生諸君へ

二年生代表

No.1

一年生諸君よくぞこの学校に入学してくれた。一時は新入生の入りが悪くこの学校の存続が怪しくなっていたのだがよくぞ入ってきてくれた(ちょっと多げさである)。

さて話は変わるが、学校生活にはもうなれただろうか、高校とは違いホームルームといったものがほとんどなく、第一に一時限が九十分もある、授業時間割を見て初めは「おおうくた。」と思っていたのではないでしようか、しかし、一時限だけで九十分。聞いた感じでは楽だと思いがいざ授業を受けてみるとこ

れがけっこうきつかったりするわけだ。

だけど、もうこの日課になれて一時限九十分一日合計6時間の授業時間をうまく時間をつぶす方法をみつけたしているはず。たとえば居眠り、授業の最初のうちは真面目に授業を受けているだろうが、そのうち疲れてくると寝てしまおうとか、特に講義の時眠くなりませんか？(ほとんど自分の事を言っているような気がしないでもない)あと、突然授業をさぼってパチンコに行くなんて事もしているのではないだろうか(これも自分にあてはまる時期があった)。

ほかにも九十分間をうまく過ごしていると言うよりも、うまくやり過ごしていると思えますが、何はともあれ、授業時間のほかにも慣れない事があったかもしれないがそこはみなさんが臨機応変に対応してうまくやってきたと思えますし慣れてきたことだろうと思えます。それにこれからも慣れない事がおこるかもしれないが、学校を辞めるなんてことがないようがんばってください。

あと、みなさんが二年間で卒業できますように。



新入生へ

二年生代表

No.2

新入生のみなさんがこの飯田コンピュータ専門学校に入学してから数カ月たちました。遅ればせながら入学おめでとう。もう学校生活にはなれたと思います。そろそろ全体の生活が単調になってきて気のゆるみが出てきて学校をさぼってしまうという人もいるのではないでしようか。せっかく高いお金を払って学校に入ったのですからそんなもったいないことはなるべくしないようにしよう(そのようなことを言っても説得力がないが)。みなさんが知っての通り、世の中はバブルが崩壊しての不況が今現在も続いているわけです。そのおかげでこれから就職しようとしている人達に大変な影響を与えているわけです。

一年生の人も一年後には就職活動を控えているわけです。まだ一年あるからその内景気が回復するだろうと思っている人は考えなおした方がいいと思います。今のこの状況がそう簡単に変るとは思えません。ですから来年も就職活動はきびしくなるの見越して今から備えるようになるべく資格をとっておくように心がけてください。

前にも言ったように今の社会では「不況・円高」の二文字が重大な問題になっているのです。そのおかげで、製造業などは大打撃をうけてしまっています。だからその関連企業への就職は非常に難しくなっています。ですからみなさんもそれなりの覚悟をしておいてください。それは説教臭くなってしまいましたがこれで終わりにします。

これからの二年間が有意義なものになるようがんばってください。

あと、堅い話をするようですが



スポーツ大会

：新入生歓迎会：

五月十三日に新入生歓迎会としてスポーツ大会が行なわれました。

普段の授業で体育がないぶん、日頃の不満(…)を一気に爆発させた様な、盛り上がった大会となりました。

結果はどうであれ、皆が楽しみ、そして、満足した大会だったのでないでしょうか。

さて、今回の大会で一番印象に残ったのは一体なんでしょうか。大会の事を思い出してみてください。

スポーツ大会を終えて

一年 H・T

五月十三日に、新入生歓迎会



としてスポーツ大会が行なわれました。高校を卒業して以来、運動をしていなかった僕にとっては、久しぶりに運動ができ、とても嬉しいものでした。スポーツ大会の種目は、バスケットボール・バレーボール・バトミントンの3種目で、僕はバスケットボールに出場しました。ただ、バスケットが好きだからという気持ちで決めたもの、実際、試合してみると、最後まで体力が持たず、後半はコートで突っ立っているという感じでした。

ところで、他の試合(バスケットとバレーですが)を見ていたら、二年生のチームワークの良さには驚きました。僕は、そのチームワークの良い二年生と対戦するわけですから、もの



すごく緊張しました。

すべての試合が終了し、結果は、僕達のチームは三位入賞とまではいきませんでした。けれど、他のチームが頑張って三位に入賞してくれて良かったと思いました。

今回のスポーツ大会は、今まで話したことのない人と友達になったこと、また、思う存分、体を動かしたなど、楽しい思い出が残った大会でした。来年は(予想だけけど)二年生みたいに、チームワーク(クラスの仲)が良くなっていると思うので、来年のスポーツ大会は、絶対に一位を取りたいと思います。

スポーツ大会を終えて

などの少年T

新入生の歓迎会と親睦を深める意味でスポーツ大会が行なわれました。

バレーボール・バスケットボール・バトミントンの三種目で各クラス熱戦が繰り広げられました。

昨年はソフトボールがあったけど今年はないので残念でしたが、自分としてはとても残念でなかった。他の種目があるので頑張りました。

昨年一年生だった時はまだ話した事さえない人がたくさんいて友達を作るという意味では良いのですがチームワークなどがとても心配でしたが、二年になるとそのような事もあまりなく楽しめました。

最初は大変だから少し手をぬいてやろうかなど、考えていましたが、いざ試合が始まるとそんな事は考えることもできないくらい、一生懸命やりました。そのせいもあって次の日は、体中がいたくてたまりませんでした。

結果はともかくみんな楽しんでみながらできてとても良いスポーツ大会になったと思います。

スポーツ大会を終えて

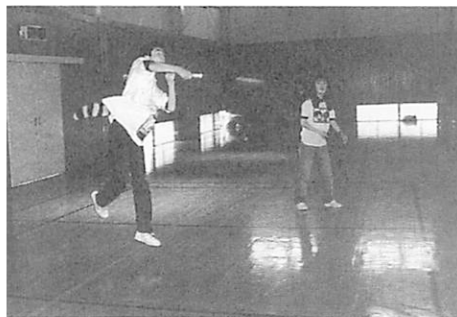
電子 少年A

五月十三日に、新入生歓迎会が行なわれました。

今回はバレーボール・バスケットボール・バトミントンの三種目になりました。

私は、三種の種目の内、比較的好きなバトミントンを選びました。チームの、ほかの人の試合を見てから出ようと思いましたが、あまりにもレベルがちゃうので「これじゃ足を引っぱるな」と思い、試合には出ないで応援だけをしました。

自分のチームが試合をしていない時は、バレーやバスケットなどを見て回り、ほかの人と一緒に応援をしました。



お昼には、試合に出ている私は、少しはクラスのために働こうと思いい、弁当を運びました。午後チームの応援をしました。結局スポーツ大会には応援をしただけになってしまいました。それが、それなりに楽しめました。

結果は次のとおりです。

バスケットボール	
一位	1年 B
二位	2年 OA
三位	2年 電子
バレーボール	
一位	1年 B
二位	2年 電子
三位	2年 OA
バトミントン	
一位	2年 電子
二位	2年 情報 B
三位	1年 B

就職戦線

2年 アイスマンより

私は、たいへんな年を迎えています。それは、不況のせいで就職活動がすこしいへんです。私は、企業を探すために、会社訪問をしています。企業によっては、入社試験と言う会社もあれば、セミナーをやったから試験という会社など、いろいろと違ったやり方をしている、おくれをとると、就職ができませんと考えてしまいます。

はやい人は、内定がでている人もいるのだから、まだ、活動をはじめていない人は、もうそろそろ動きださないと、本当に遅れをとり、入れる企業がなくなってしまう、最後には、入る企業がなくなり自分がこまる日がくると思うので、はじめていない人は、気合を入れて、就職活動に動きだした方がいいと思っています。

なにか、私から見ると、皆さん、ゆっくりしているのではないのでしょうか。まあ、ゆっくりしている人は、なにを考えているのか、我々には、まったくわかりません。とりあえず、まだ

もいっている。これからちょっと本腰を入れて行かな。

2年 電子

はじめていない人は、やりたい仕事をはやく決めて動きだしてほしいと思います。

2年 O A 代表

今年は、バブル崩壊後最悪の就職難になっているとニュースや新聞などで伝えられています。だけどその「就職難」がはっきりと目で見えるわけではないのでどうも実感がわいてこないで自分でもこまってしまうところなんです。本来なら、今ごろ自分の進みたいと思う方面の会社をいくつか見ておき会社訪問などを行っていただければいいのですがまわりを見た感じでは、あまりあせっているみたいでもないで、自分自身危機感がないので行動を起こすことが出来なくてこまってしまう。それなりに資料とか見て色々考えてはみるのだがそれから先に進まないのだ。一応この会社はいいなと思うのだが考えたことを行動に移せないのだ。自分としては、べつにコンピュータ関係の仕事をしたいわけではないので、自分の思う条件になうところならどんなところでも

今年は昨年よりもさらに求人数が少なくなっている、このままいったら就職できないのではないかと思ってしまう。

企業に資料の請求してもなかなか資料が送られてこないこともある。

今考えると4月のうちにきちんと資料を請求しておけばよかったと少し後悔している。周りの人で自分よりも早くきちんと電話などして会社訪問している人も多くいたかもしれない。やっぱり景気のいいうちに就職しておけばよかったと今、本当に思ってしまう。

6月にやっと会社訪問をしようとしても会社側から専門卒は今年はまだ取らないと言われたことがあった。

これからどんどん景気が悪くなれば来年はもっと人ととらないかもしれない。一年の人は早いうちに企業の資料を請求するようにしたほうがいいかもしれない。

自分ももう少し早く会社訪問しとけばよかったと思ってしまう。もしかしたら就職できないまま卒業しなければならないかもしれない。

協賛会だより

記念講演

郵政省電気通信局
電気通信事業部
データ通信課長

蝶野 光

去る6月14日協賛会総会14記念講演にて、先に2010年までに全国の家庭に光ファイバー網を敷設するとして大きな話題を呼んだ高度情報時代の到来とマルチメディアをめぐる、講師の蝶野氏は将来の展望を交えながら講義をされた。目標が2010年に設定されたのは戦後の昭和22年、24年頃のベビーブーム世代が老齢期を迎える時期にきているからである。

電気通信事業の現状から、電話事業の取り扱い回数・量は増えているが、全体のパイは縮んでいるとし、新しい通信需要を喚起せず、値下げ合戦ばかりしている現在の通信事業のありようを「危機的」と指摘された。電話通信事業とは一体どういう会社かどの程度のことをやっているか、実は電気通信の世界が大きく変わってきており、それにはいくつかが話がある。新聞紙上でいろいろ取り沙汰されて

いるが、大きなポイントとして一つはマルチメディア、もう一つはカスタマーズである。これは、電気通信サービスというものが、電話・電報などのように使われる端末の使用まで含め、「一つのものを皆さんに同じ型の物を使って下さい」という時代はもう終わりである。

また氏は、新世代通信網といわれるB-ISDNの必要性について、音声も動画も統一した複数のメディアが求められていると利用者側のニーズから説明。

58年 大臣官房文書課課長補佐
長
などを経て
平成4年 現職に就任

通信・放送の融合に対応し、

国の制度を整備すべきとし、安全性・個人情報の保護、知的所有権問題について蝶野講師の講話を聞いて、国のためにも個人のために急速に進めてほしいと思いました。

△プロフィール▽
昭和23年10月6日生

奈良県出身

大阪府立天王寺高校

東京大学法学部

50年 郵政省入省

55年 砂川郵便局長(北海道)

56年 信越郵政局人事部管理課

長

58年 大臣官房文書課課長補佐

などを経て

平成4年 現職に就任



リカレント・カレッジ

現在、世の中では技術・能力をレベルアップさせていくことが求められています。「リカレント・カレッジ」は、社会に出てからもう一度勉強をしたい、

今までに習っていない新しいことについて勉強したいという人たちのチャレンジの場として開講しました。

今まで、公開講座として行ってきたものを母体に、教育内容を大幅に増やし、リカレント・カレッジとしてスタートしました。

リカレントとは、再発・循環を意味しますが、リカレント・カレッジは大きく急速に変化する社会において常に学習が必要であることを前提に、労働・余暇などの諸活動と

教育を交互に行って行こうとする考え方です。

現在本校で学んでいる社会人の年齢層は、20才ぐらいから60

才ぐらいまで幅広く、仕事などに役立てようとしている人、趣味としてパソコンを利用する知識を深めようとしている人など様々な目的で講義を受けられています。

講座は5月から、VB (Visual Basic) プログラミング入門・簿記入門・(ウインドウズ用ワープロ) ワード活用入門編・(ウインドウズ用表計算) エクセル活用入門編の4コースでスタートしました。

講義は、ほとんどが夕方7時から9時までの2時間、簿記入門は8時20分までの1時間半となっています。

現在、プログラミング入門・簿記入門が7月末まで行なわれており、7月中旬からは新しい講座が始まります。7月15日から全12回でエクセル活用、7月18日から全5回でOSの知識や技術を取得するためのMS-DOSです。

夏休みに合わせ高校の数学を学ぶ情報数学や、ネットワーク入門・運用が8月、短期集中講座として開講します。ウインドウズ用ワープロ「ワード活用(応用編)」がスタートします。

その後、9月から情報処理資格取得対策、日商3級ワープロ試験対策等10月から開講する講座を含め、10コース以上を予定しています。

これらの講座は、一般応募で受講できます。

近々開講 予定の講座

情報数学

8月1日から8月5日(5回)
13時から17時

ネットワーク入門

8月1日、9日、18日、26日
一回の講座4回繰り返す

9時30分から16時30分

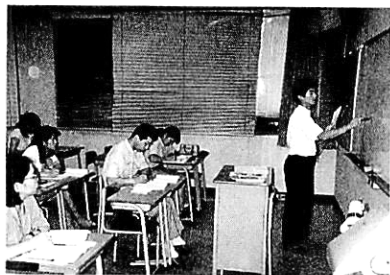
ネットワーク運用

8月3日、22日それぞれ3日間

9時30分から16時30分

ワード(ワープロ)活用応用編

8月22日(全12回)
19時から21時



ご案内

当校では、以下の事柄についても対応できるよう計画しています。

- 一、会社、事業所などである程度まとまって教育・研修を希望される場合は、別に出張指導・講師派遣などが可能。
- 二、情報化・システム化に関する指導・支援、設計・開発、運用等に関するコンサルティングやアドバイスを。
- 三、本科(専門課程)の授業の聴講。
- 四、当校コンピュータ機器(パソコン、LAN等)その他の施設・設備の利用(見学自由)
- 二、四などはパソコンを導入しよう、LANについて導入したいのなどがどうしたら良いのか、またどんな効果があるのかという問題の参考にもなると思います。

※受講料の網掛けは市工業大学校指定コース(市内勤務・在住の方は5000円引き)

コース名	主担当者名	申込締切日	講座開始日	講座終了日	回数	曜日	受講料	定員
エクセル活用 [応用編]	松島 弘明	7月5日	7月15日	8月30日	12	火・金	18,000	40
MS-DOS [入門編]	下平 達郎	7月11日	7月18日	8月1日	5	月・木	7,500	30
ネットワーク入門	久保田真司	7月22日	8月1日	8月26日	1	指定日	4,000	20
情報数学	久保田 浩	7月22日	8月1日	8月5日	5	毎日	10,000	20
ネットワーク運用	久保田真司	7月23日	8月3日	8月24日	3	指定日	15,000	20
ワード活用 [応用編]	伊藤 康彦	8月15日	8月22日	10月3日	12	月・木	18,000	15

協賛会 平成六年度 事業計画

平成6年7月

新規入会団体勧誘

企業説明会

就職活動協力

協賛会だより(学校だより)

UP-LE 発行

9月

就職活動協力

学校運営懇談会

10月

リカレント・カレッジ

(夜間部)開校協力

学生募集活動協力

12月

協賛会だより(学生だより)

UP-LE 発行

平成7年3月

協賛会だより(学生だより)

UP-LE 発行

卒業証書授与式

(卒業式) 列席

(通信事業)

学生募集活動への協力

学生就職活動への協力

新入会員の勧誘・確保

(仮称)地域情報化センター

(パソコン)試用コーナー等

設置計画推進・支援

HOTLINE

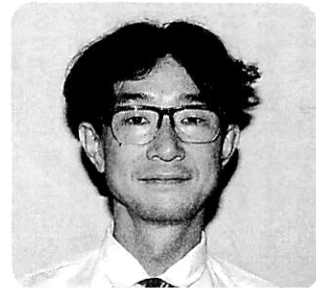
新任の先生のあこがれ

各種試験
合格者

来年の入学生から、学校のしくみが変わります。

それにより、学生の学力・技術習得力の実態に沿った多様な教育コースの設置とコース選択の明確化、多様なコースでの教育により、地域の企業・産業の実態、就職環境(業種・職種)に適合した人材育成、人材輩出を進める。多様な教育コースの選択により、学生の可能性を伸張させる教育を実現することなどをねらいとしています。

今後、コース多様化・選択制導入により一年次共通教育課程、二年次選択専門課程となり、特に一年次の教育効果実現のため、2クラス編成とし、2年からは「エレクトロニクスエンジニア」「システムプログラマ」「アプリケーションプログラマ」「システムアドミニストレータ」「アプレケーションプログラマ」「ビジネススペシャリスト」という6コースになります。これにより、「自分はこう言うことをしてみたいから」又は、「自分にはこのコースがあっているから」そう言う理由で、コース選択できるようにします。自分分は絶対にこういうことをしたいんだという気持ちが大切です。



出席簿をつくって 思う事

藤網俊夫

今から考えると、自分自身毎日の授業なんか、一体誰が好き好んで朝も早くから一日中教室に缶詰でいるんだらうか、と授業を何度も何度も抜け出していました。

授業初日、生徒みんなにたずねました。

「簿記」について知っている事は、と。様々な答えが返ってきました。ある者は、もう高校である程度の検定試験を受けたのだとか、全然判らないからこれに取組みたいんだとか、過去に授業を取った友達に聞くと何だか難しい言葉が多いらしい、とか。

事実、他の教科でも使われる言葉の一つ一つが新しい専門用語で、その意味もなかなか難解だと思えます。

毎週毎週新しい課題に取組みます。ホームワークも出します。そうした中、少しでもまごまごしている、「ああ、聞いておけばよかったな。」と思う事も聞き逃してしまい、そしていつかまた最初からわざわざ自分で学習しなくてはならないのです。

時間が一杯ありそうでも、他にやりたい事、やらなくてはならない事、たくさんあるはずですよ。だからこそ、少しずつでも貯めれる事は大切に取入れて欲しいのです。

たとえ今スタートが違っても、これからの取組み方で必ずとゴールも違ってくるのですから、目的意識を持ってその時々を送ってもらいたいと思います。平成6年度中、数えてみると90分授業が38時間程しか有りません。3420分の時間の中でどれだけの物を取り込む事が出来るか、自分自身試して欲しいのです。

それでも折角だから少しずつでもと考えてくれるなら、過去、授業に殆ど出席しなかった私の様なまねはさせたくない、と思うのです。

ワープロ検定

二級 椎名 延子
二年情報

四級 鈴木美介子・常盤 直子
二年OA

岩本 和浩・折山 幸子
川手 政訓・熊谷 慎介
西条 緑・佐々木 順
下井田 衛・下枝 国博
白鳥 章子・中塚 淳子
中山 聡子・牧内 真理
松沢 修・久保田 暁
桜井 高廣・吉沢 公二

日商簿記検定

三級 後藤 照代
二年情報
鈴木美介子・常盤 直子
二年OA 宮下貴美代

J験・情報処理 二種について

6月19日にJ験がありました。今まで専門学校用の情報処理能力認定試験だった試験がJ験として新しくなりました。結果は現時点ではまだ出ていません。20日過ぎらしい。

伝言板

7月23日~8月28日	夏休み
10月1日	日商ワープロ技能検定
3日~10月7日	前期定期試験
16日	情報処理技術者試験
23日	英語技能検定(1次)
11月6日	ビジネス文書技能検定
13日	秘書技能検定
20日	日商簿記検定
24日・25日	ペン検定試験
27日	遊楽祭
12月3日	英語技能検定(2次)
11日	日商ワープロ技能検定
24日~1月8日	情報処理活用能力検定 冬休み

編集後記

受験した感じでは昨年までの情報処理能力認定試験と比較して、問題の中身が大きく変わっただよには思えません。我々がこの学校に在席する2年の間で一番の大きな目的である情報処理二種試験も今年の秋から変更され、電卓の使用が可能になり、午後の試験はマークシートになります。それにつれ、内容も今までより難しくなるという事でいつそう合格が遠のいた感じがします。

二種には科目合格が無いこともあって、J験の方なら合格できると思われます。少なくともJ験の2級は合格して卒業したいところではあります。

おかげさまで無事UP-LE二十一号を発刊することが出来ました。委員の皆さんが、力を合わせて今回のUP-LEを作成して頂いて、良いものが出来たと思っています。これからも力を合わせて頑張ろうや!!ありがとうございます。

